

革や民間活力の導入などを進めることと、町政を支える行財政基盤の強化を図りつつ、限られた財源の中で行政サービスの維持・向上に努めてまいりました。お陰をもちまして、

昨年、安全・安心な学校づくりの第一環として、持留小学校の校舎改築工事に着手し、今月、完成予定の新しい校舎は、人に優しい温もりに満ちた設計になっており、教育だけではなく生涯学習の推進にも大きく期待できるものと考えております。また、曾於南部畑地かんがい事業は、実に十九年という長い年月をかけ、ようやく高井田と中部地区の一部で通水が始まり、水を利用した農業が現実のものとなりました。さらに長田・岡別府地区の水田ほ場整備にも本格的に着手し、優良農地の保全・確保のための基盤整備が順調に進められており、本町の将来に向けた発展の基礎を固めることができた一年ではなかったかと思っております。

また、「雇用の確保と若者定住策」といたしまして、「これまでも企業誘致に努めてまいりましたが、昨年は、本町の誘致企業である回本ハードウエア―株と新たに工場増設に関する立地協定を締結できたことをはじめ、野方地区に場外馬券発売所「ニューウェーブ大崎」がオープンするなど、このことが地域における新たな雇用創出はもとより、地域経済の活性化に大きく寄与するものと

期待しております。さらに地域資源のシラスを活用した緑化基盤材などを開発した株式会社ワンワークスが、「元気なモノづくり企業300社」(経済産業省中小企業庁)に選定され、その製品は県内外で広く採用されており、今後ますますの発展が見込まれると同時に、地域資源活用型の産業おこしに多大な貢献をしていただいております。

環境問題につきましては、皆様の意識が高まるなか、環境省が実施した地球温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業の県代表選考会で本町が最優秀賞を受賞いたしました。このことは、一朝一夕になし得るものではなく住民の皆様をはじめ、企業や関係団体など、地域が一体となって以前から資源ごみの分別活動など、温暖化防止対策に取り組んできたことが高い評価につながったものと感じております。この場をお借りして関係者の皆様にお礼申し上げます。また、農業者と地域住民が一体となって、農地や農業用水などの資源や環境を守るための「農地・水・環境保全国上対策事業」に取り組む地域協働活動を今後も支援してまいります。分権型社会が強力に推進されている今、住民や企業、団体などの多くの皆様との協働によるこのような取り組みが「自立したまちづくり」の実現には不可欠であると認識しており、その良い先例になっているのではないかと思います。

町政の主役は町民の皆様です。町の花「さざんか」は、秋から冬の花の少ない時期に次々と開花し、町に彩を与えてくれますが、「困難に打ち勝つ」という花言葉があります。町の木「くす」は成長が遅くとも堅い大木になります。本町を取り巻く諸情勢は誠に厳しいものがありますが、私はこの町花・町木のもつ意味を深く心に刻み込むとともに、これまで先人達が築き残してきた本町の自然や文化・歴史の素晴らしさと重みを再認識しながら、誠心誠意、情熱を傾けて、町民の皆様にくすことが私の使命であると考えております。皆様「大崎に住むことに自信と誇りを持ち、いきいきと暮らすことができる社会」の創造に向け、私をはじめ職員の総力を結集し、専心全力を尽くす所存でございますので、町民の皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後にこの一年が、皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。

